

第1回県政ビジョン策定有識者委員会（鹿児島地区）

■ 県政の目指すべき方向性に係る有識者からの主な意見等

NO.1

関連分野	意見・提言等
<p>自助・自立 及び共助</p>	<p>〈岩崎県商工会議所連合会会長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自助・自立の国、かごしま」というビジョンを設定していただきたい。 ・原点に自助，鹿児島は，誰にも頼らず，自分たちの未来を作っていくんだという精神的な風土を，今後10年かけてやっていただきたい。 <p>〈竹内日本青年会議所鹿児島ブロック協議会会長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域連携をキーワードに，自立した鹿児島の創造を。そのためには各地域が自立しないといけない。 <p>〈池田県医師会会長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自助・自立」という観点だけでなく，弱者切捨にならないよう「共助」の視点も取り入れることが必要。 <p>〈田畑県女性団体連絡協議会会長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティーの力を大きくして，自分の生き方，死に方など，コミュニティーの中で語り合う場をもっともって作って行く必要がある。 <p>〈餅原県青少年保護育成審議会委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害が多い鹿児島の弱みを，「自立」「共助」で，みんなで助け合いながら，災害に強い鹿児島県というのを作っていければと思う。
<p>若者等の地元 定着</p>	<p>〈岩崎県商工会議所連合会会長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土に残って，郷土でがんばっていくという気持ちにならない，させられないという何かが鹿児島の課題。 <p>〈大野県商工会青年部連合会会長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化による廃業や人口減少による消費の冷え込みなどの問題が課題となっており，若い世代が担い手として頑張っていくことが必要。 <p>〈宮内県漁連専務〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各産業，人の確保が1番の問題。若者に少しでも鹿児島に残ってもらうためには，地元に残ればこういう楽しい生活が送れるということ，わかりやすくビジョンに描いていくことが大事。 <p>〈山本県建設業青年部会会長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の鹿児島のあるべき姿の一つとしては，「若者の確保」。若者を地元確保することは，建設業を含めた産業育成や地域の活性化につながる。
<p>教育・人材育 成</p>	<p>〈門田鹿児島市国際交流団体理事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界のどこへ行っても通用する鹿児島県人をつくる，そういう教育ができる「教育県としての鹿児島」を復活させて，それにより魅力的な鹿児島県人が，県の個性を形成していく，そういう流れができれば良いと考えている。 <p>〈平井鹿児島大学副学長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島で活躍する人材が増えて欲しいというはあるが，鹿児島にかぎらず，どこへ行っても，現場にちゃんと足を着けて，なおかつ広い視野で考え，困難に向かっていくという人材育成ができればいいのではないかなと思う。

関連分野	意見・提言等
安心・安全な暮らし (災害・防災・インフラ)	<p>〈餅原県青少年保護育成審議会委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害が多い鹿児島島の弱みを、「自立」「共助」で、みんなで助け合いながら、災害に強い鹿児島県というのを作っていければと思う。(再掲) <p>〈山本県建設業青年部会会長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島において、安心・安全に暮らすためには、質の高いインフラが必要。 また、新たなビジョンには、農林水産業や観光など優れた鹿児島島のポテンシャルを活かすためのインフラ整備の姿を、盛り込んでいただきたい。 <p>〈下川鹿児島大学地域防災教育研究センター特任教授〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島県は多様な災害に備えなければならないが、これからの10年間の計画に是非盛り込んでいただきたいのは、桜島の防災対策。桜島の大規模噴火を想定した対応が必要。
安心・安全な暮らし (医療・福祉)	<p>〈池田県医師会会長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民が安心して生活できる環境を整えるためには、地域に根ざした医療・介護の人材育成をしっかりとしていくことが必要。 ・また、生涯にわたって一貫して対応できる生涯保健の視点にたった住民支援を行うことが必要。 <p>〈久永鹿児島女子短期大学名誉教授〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉の業界では、住み慣れた地域でということをしつとってきているが、人材の問題等、それを実現するためには何が課題かを明確にしながらか施策を打っていかないと、かけ声だけで終わってしまう。
子育て・働き方・少子高齢化等	<p>〈田畑県女性団体連絡協議会会長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て中のお母さんに必要な施策が、なかなか行き届かない。 ・女性が働きやすい環境、男性が育児休暇を普通に取れる環境を目指していくべき。 <p>〈武田県保育連合会事務局長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度から、子ども・子育て支援新制度が始まったが、待機児童、保育士の不足、確保の問題等の課題がある。 ・ビジョンの策定に当たっては、子どもが輝ける未来、その後の世代までうまく暮らしていけるような社会の創出に取り組んでいただければと思う。 <p>〈飯山県銀行協会常務理事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島県の課題は、人口減少、少子高齢化の急激な進行が一番。若者が当県に留まるための施策、例えば、家族給付や出産育児と就業の両立支援など環境を整えることが重要。 <p>〈山本県建設業青年部会会長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気高齢者の積極的な社会参加を支援することで、就業者数の減少をカバーできる。元気高齢者施策を積極的に展開すべきである。

関連分野	意見・提言等
観光・鹿児島ブランド・産業振興ほか	<p>〈中原県観光誘致促進協議会副会長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行生は将来の鹿児島の観光のリピーターに繋がる大事な観光客。将来の鹿児島へ来ていただくリピーターを作るため、鹿児島の安心・安全を発信し、交流人口を増やして行く必要がある。 <p>〈宮内県漁連専務〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売、マーケティングにおいて、鹿児島の統一のブランドがイメージが欲しい。 ・「食」は鹿児島の強みであり、観光の武器にもなる。体験型の旅行に「食」を組み合わせられないか考えている。 <p>〈飯山県銀行協会常務理事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵まれた自然や歴史を活かしたグリーンツーリズムやシーツーリズムの推進による国内外の観光客の更なる誘致が必要。 ・人材や資本の地産地消をベースに、県産品を大いに売り込み、県民一人あたりの所得が上がって行く、そして多くの人々が鹿児島に住んで良かった、鹿児島に来て良かったと思われるような姿を目指すことが必要。 <p>〈宮廻委員長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少はやむをえず、その中で経済を維持するには、生産性向上が必要。そのためには、技術革新の成果（AI・IoT・ビッグデータ等）の導入なども重要。 <p>〈平井鹿児島大学副学長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10年後に中心となる世代の願いとか想いとか夢とか、そういう所もビジョン作りの中に取り入れていただきたいと思う。
環境・エネルギー 森林資源	<p>〈松村鹿児島大学名誉教授〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題で一番大きな問題は、地球温暖化の防止への取組。知事のマニフェストにも提唱されている再生可能エネルギーをできるだけたくさん利用する、それによって地域振興なり、雇用の創出に繋がる。 <p>〈堂込県林材協会専務理事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業・木材産業の振興の観点から、様々な建築物への木材の利用、木材の輸出の促進、再造林の推進の取組が重要。
文化・芸術の振興	<p>〈寺蘭県文化芸術振興審議会副会長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術の振興の観点から、①文化芸術に係る人材の育成に努める、②地域の文化資産の承継・発展として、身近な場所で多様な文化に親しめる環境作り、③鹿児島の多様な文化芸術、その魅力を国内外に発信していける10年であれば良いなと考えている。